

2020年度 全道モトクロス選手権シリーズ 特別規則

2020.3.25 MFJ北海道モトクロス部会

公 示

本特別規則は、MFJ国内競技規則に基づき、MFJ北海道モトクロス部会が定める全道モトクロス選手権シリーズの特別規則である。

【1】 大会主催者および開催日程

- 詳細は、別途レースカレンダーにて示される。

MFJ 北海道ホームページ https://www.jmpsa.or.jp/prg_img2/pdf/pdf2020032515451454191400.pdf

【2】 大会運営・実行組織

- 詳細は、公式通知または公式プログラムに示される。

【3】 大会公式通知

- 本規則に記載されていない競技運営に関する実施細則および参加者への指示事項並びにタイムスケジュールは大会公式通知にて発表する。

【4】 開催競技種目・参加資格について

クラス名称	参加資格(下記ライセンスは当該年度有効であること)
CX50A/B	※1 参照
キッズ 65(K65)	PC または MX ジュニアライセンス所持者
ジュニアクロス(JX)	MX ジュニアライセンス所持者
ノービス 85(NB85)	MX 国内 B 級ライセンス所持者
オープン 85(OP85)	MX ジュニア・NB・NA・IB・IA ライセンス所持者
ノービス(NB)	MX 国内 B 級ライセンス所持者
ナショナル(NA)	MX 国内A級ライセンス所持者
インターナショナルオープン(IO)	MX 国際 A 級・国際B級ライセンス所持者

*各クラスの成立台数は出走台数 2 台以上とする。

*昇格ポイントの発生しない承認クラス(CX50・K65 クラス・ノービス 85・オープン 85)は、1 周を周回した時点で完走とし、最大 20 位までシリーズポイントを付与する。

※1. CX50 クラスの詳細

①参加資格:「小学校 3 年生以下」(2011 年 4 月 2 日以降に生まれた方)で PC または MX ジュニアライセンス所持者。

*大会開催日時点で小学校 4 年以上の方は参加することができない。

*CX50A 及び B クラスのシリーズチャンピオンは「MFJ 全日本ランキング認定表彰式」における表彰対象者として認定される。

②開催クラス: CX50A 出場車両(国内メーカー) / CX50B 出場車両(外国メーカー)

賞典はそれぞれに適用。但し混走レースとする。

*出場車両の仕様については、2020 年 MFJ 国内競技規則 P.315～「50cc クラスの仕様について」を参照。

③競技時間: 8 分+1 周

④CX50 クラスはコースコンディションが著しく悪化した場合、競技監督・主催者の判断によりエントリー料を返金し、競技開催を中止する場合もある。

⑤スタート方式:スターティングマシンを使用せず、安全を確保したスタート幅で実施

- 1)エンジンをかけた状態でスタートラインに整列。
- 2)右手をヘルメットにつけアクセルに触れずスタート合図を待つ。
- 3)日章旗を地面から上に振り上げ、スタート合図とする。

【5】 出場車両

- **ジュニアクロス・ナショナル**はMFJ公認車両でなければならない。
*公認車両のリストは 2020MFJ 国内競技規則書及び MFJ ホームページのリストをご確認ください。
- 各クラスの出場車両については下記の条件に基づく。

クラス	車両規則	排気量	
		2st	4st
CX50A・B	50cc クラスの仕様	50cc まで	50cc まで
キッズ 65	基本仕様のみ	49cc を超え 65cc まで	49cc を超え 110cc まで
ノービス 85・オープン 85	基本仕様のみ	65cc を超え 85cc まで	85cc を超え 150cc まで
ジュニアクロス	MFJ 公認車両	65cc を超え 85cc まで	85cc を超え 150cc まで
ノービス	基本仕様のみ	下記 2 クラス・1 クラスのいずれか	
ナショナル	MFJ 公認車両		
インターナショナルオープン	基本仕様のみ		
	2 クラス	100cc を超え 125cc まで	175cc を超え 250cc まで
	1 クラス	175cc を超え 250cc まで	290cc を超え 450cc まで

※2 ストローク 150cc で MFJ に公認された車両は 1 クラス・オープンクラスへの出場が認められる

【6】 参加定員

- 参加申込に対する定員は、定めない。

【7】 参加資格・注意事項

- **ライダー**
 - 1)2020 年度有効な当該MFJモトクロス競技ライセンス所持者とする。
 - 2)未成年者は大会当日親権者または親権者が委任する所属クラブの代表者が同伴しなければ出場を認めない。
 - 3)ライダーがコースの下見をする際は、ライセンス証を外部から認識できる位置に装着すること。
- **ピットクルー**
 - 1)2020 年度有効なMFJピットクルーライセンス所持者であり、かつエントリー申請書の記載者とする。
 - 2)大会当日は、必ずピットクルーライセンスを確認できる場所に装着すること。
 - 3)スターティングエリア・サインエリア・ピットエリアに入場する際は係員にライセンス証を提示する。
 - 4)ピットクルーの違反行為(無資格者も含む)は、当該ライダーのペナルティーとする。
 - 5)ウエイティングエリア・スターティングエリアでの喫煙を禁止する。

【8】 参加申込・エントリー方法

- 一次締切り:大会開催日の1ヶ月前から 4 日前(開催週の水曜日まで)必着とする。
(エントリー用紙とエントリー料が到着していることを条件とする)
- 一次締切日を超えた場合は、レイトフィーとして 3,000 円を徴収しエントリーを受け付ける。
- **最終締め切り日は全大会共通で大会 2 日前(開催週の金曜日)17:00 必着とする。**

	開催日	一次締切り	最終締め切り
第1戦千歳大会	5月24日	4日前必着	2日前17:00必着
第2戦帯広大会	6月14日		
第3戦札幌大会	7月5日		
第4戦釧路大会	7月26日		
第5戦千歳大会	8月30日		
第6戦札幌大会	9月27日		

- 大会前日および当日の申し込みは出来ない。
- 所定の参加申込書に必要事項を全て記入(出場車両のエンジン・フレーム No.および年式を記入)の上、エントリー料金を添えて現金書留または持参で申し込む。
- **ジュニアクロス・ナショナル**はMFJ公認車両であるかを自身で確認の上エントリーすること。
- 申し込み先は、別途競技日程/申込先に示す。
- 主催者により現金書留以外のエントリー方法が指定される場合がある。
- 電話または締切日以降の申込、エントリー料不足の申込みは一切認めない。

【9】 全道モトクロス選手権エントリー料

出場クラス	エントリー料金(税込)
CX50A・B	¥4,500
キッズ 65	¥8,000
NB85・OP85	¥9,000
ジュニアクロス	¥11,000
NB・NA・IO	¥12,500
クラス追加	¥3,500

※クラス追加の場合は料金の高い方のクラスに¥3,500を追加する

【10】 参加受理または拒否

- 必要事項のすべてが明記された出場申込書及び所定の金額が大会事務局に受理された時点で参加が受理されたものとする。
- 一旦受理された出場料は、大会中止以外返還しない。
- 大会中止の場合、参加者が支払った出場料は全額返還されるが、他の損害賠償を主催者に請求することができない。
- 主催者は参加者に対してその理由を明らかにする事なく申し込みを拒否、または無効とする権限を有する。

【11】 ウェアラブルカメラ

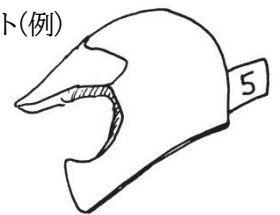
- ヘルメットおよび装備品(身体)にウェアラブルカメラを装着することは禁止する。
- 車体への装着は認められるが、装着方法が危険と判断された場合は、取り外しを指示される場合がある。

【12】 ゼッケンナンバー

- 全道モトクロス選手権シリーズ戦については年間指定ゼッケンとする。
- 年間指定ゼッケンは2020年度全道モトクロス選手権シリーズ指定ゼッケン表による。
- 指定ゼッケンを持つものは、大会エントリー時にゼッケンナンバーをエントリー用紙に記入の上、申し込むこと。
- 2020年度の指定ゼッケン決定基準は次の通りとする。
 - ①2019年のシリーズポイントランキング順。
 - ②2019年エントリーが有り、獲得ポイントがない場合は2019年のゼッケン順でポイント獲得者の後ろに割り当てる。
 - ③NB・NAクラスからナショナル・インターナショナルオープンクラスへの自動昇格者はランキング順に01～のルーキーゼッケンを指定する。

- ④2020年CXクラスの参加資格(小学3年生以下)から外れる方のゼッケンは欠番として、前年CXクラスのランキング順にキッズ65クラスのゼッケンを指定する。
- ⑤JXクラスで年齢による自動昇格者のゼッケンは欠番としてノービスクラスのゼッケンをエントリー順に指定する。
- ⑥申請昇格者、及び特別昇・降格者のゼッケンはクラス確定後、欠番とする。
- ⑦指定ゼッケンを持たない参加者は各主催者にて空き番号をエントリー順に指定する。
- ⑧第1戦の受付期間前についてはMFJ北海道で主催者と調整の上、申し込み順に指定する。
- ⑨ライダー同士のゼッケンナンバーの交換は認めない。
- ⑩**インターナショナルオープンクラスに出場するIAライダーは全日本シリーズ(IA1とIA2)と共通の番号を使用するIAライダーのゼッケンナンバーMFJ本部で番号登録・管理される。**
- ⑪オープン85のゼッケンは、ジュニアクロス・ノービス85クラスのライダーは全道指定ゼッケンNo.を使用し、その他のライダーは基本的に自由とする。但し、参加者の番号が重複した場合は、主催者が修正(応急措置)を指示するので、ライダーはそれに従うこと。
- ライダーは雨天の場合に備え補助ゼッケンプレートを用意し、競技監督が取り付けを指示した場合速やかにヘルメットに取り付けなければならない。

補助ゼッケンプレート(例)



- 予選・決勝レースは指定ゼッケンの記入されたジャージまたはプロテクターの着用が推奨される。
- ゼッケンプレートの色

クラス	ゼッケンカラー
CX50A/B	白地に赤文字
キッズ65	緑地に白文字
ジュニアクロス	赤地に白文字
ノービス85	白地に黒文字
ノービス	白地に黒文字
ナショナル	黄色地に黒文字
インターナショナルオープン(IB)	紺地に白文字
インターナショナルオープン(IA2)	黒地に白文字
インターナショナルオープン(IA1)	白地に黒文字

- ゼッケンナンバーの書体は国内競技規則書 P.302 の書体参考例)を参考とし、遠くからでも読みやすい書体でなければならない。
- ゼッケンプレート規則の詳細は2020年MFJ国内競技規則P.301「3-15」ナンバープレートを参照

【13】希望ゼッケン (MFJ北海道で随時受付 011-768-4112)

- 希望ゼッケンは、2桁(99)を限度とし、申込時点で空きのある番号に限る。
- 希望者は、ゼッケンの年間使用代として10,000円(税込)をMFJ北海道に支払う。
- ゼッケン代金未払いのナンバーは大会で使用できない。
- インターナショナルオープンクラスのIBライダーに限り3ケタの希望ゼッケンを受け付ける。

【14】パドック

- パドックオープンはレース開催前日土曜日のコースオープン時間(公式通知に示される)とする。
- 場所取りについて:テープのみの場所取りは禁止。車やテントの設置又は人がいることを場所取りの条件とする。
- 車やテントの設置又は人がいない状態で場合取りをしている場合は、テープなどを撤去する場合がある。
- パドック利用については係員の指示に従うこと。

- パドックへの駐車は極力トランスポーターのみとし、乗用車は会場指定の観客用駐車場を利用すること。
(各主催者発行の車両通行証をダッシュボード上に提示して下さい)

【15】 出場受付・車検(大会当日)

- 出場受付は、定められた時間内に必ずライダー本人又は当該ライダーのメカニックが出向きMFJライセンス・参加受理書を提示し出場資格の確認を受けなければならない。
- 健康保険証は、提示しなくても良いが、万一負傷した場合に備え、必ず持参すること。
- MFJライセンスを提示できない場合は、原則として出場を認めない。
- エントリー用紙と車両仕様書の内容を確認するため、車検の前に受付を済ませ、車両仕様書に検印を受けること。
- 専用窓口にて(受付近く)、ヘルメット公認マークチェックを行い、マークが確認できればヘルメットに合格シールを貼り、車両仕様書のヘルメット検印欄に検印を押す。
- **ヘルメット公認マークは自ら露出した状態で係員に提示すること。係員は原則ヘルメットに触れない。**
- 参加者は受付の車両ナンバー確認とヘルメットマーク確認の 2 つの検印が押された車両仕様書を持って車検を受ける。
- 車検にて車両仕様書と実車のエンジンナンバー・フレームナンバーを確認しマーキングをする。
- 大会前日に受付・車検の時間帯を設ける場合がある。

【16】 ライダーズブリーフィング

- 参加者は、必ずライダーズブリーフィングに出席しなければならない。
※タイムスケジュールに示された時間以外にもライダーズブリーフィングを行う場合がある。

【17】 車両の変更

- 車両検査終了後エントリー用紙に記載した車両を安全上の理由(亀裂・破損・故障など走行に支障をきたす状態)により変更する必要がある場合は、所定の書式に従って変更申請を行い、競技監督が認めた場合に限り車両の変更が認められる。
- 申請に必要な変更手数料は 1 部品(エンジンまたはフレーム)につき 5,000 円とする。
例)フレームの交換 1 部品変更 5,000 円
 エンジンの交換 1 部品変更 5,000 円
 フレームとエンジンの交換(車両ごとの変更も含む) 2 部品変更 10,000 円
- 車両・部品の変更は同一部門・同一車両メーカー・同一排気量同士のみ認められる。
- 車両検査終了後、ライダー間でマシンを交換することは禁止される。

【18】 公式練習

- ライダーは、タイムスケジュールに定められた公式練習に参加しなければならない。
※公式練習に参加しないライダーは、予選・決勝レースに出走できない。
- 各クラスの練習時間は以下のとおりとする。

クラス	練習時間
CX50A/B	10 分間
キッズ65	
ノービス 85・オープン 85	
ジュニアクロス	15 分間
ノービス	
ナショナル インターナショナルオープン	

- 公式練習走行中のスタート練習は禁止する。

【19】公式予選

- 各クラス、受付終了時点で 32 台以上の種目については原則予選を実施する。(CX50 クラスを除く)
- 公式予選の組分けは、受付終了後公式練習終了までに発表される。
- 著しくコースコンディションが悪化した場合、競技監督・主催者・選手会が協議し、タイムアタック方式の予選を採用する。その場合上位 30 名を決勝進出者とする。タイムアタックの時間割は競技監督、審査委員会が協議の上決定する。

【20】競技時間・順位

- 予選レースは、5 周を基本とする。(予選の有無・周回数は公式通知に示される)
- 決勝レース時間は以下の通りとする。

クラス	レース時間
CX50A/B	8 分+1 周
キッズ 65	10 分+1 周 ×2 ヒート
ノービス 85・オープン 85	10 分+1 周
ジュニアクロス	10 分+1 周 ×2 ヒート
ノービス	10 分+1 周 ×2 ヒート
ナショナル	15 分+1 周 ×2 ヒート
インターナショナルオープン	20 分+1 周 ×2 ヒート

- 2 ヒート種目(K65・JX・ノービス・ナショナル・インターナショナルオープン)の総合順位決定方法
①1 ヒート、2 ヒートの合計得点が多い者。
②合計得点と同じ場合は、2 ヒート目の成績上位者を優先する。

【21】スタート

- スタートの方法
エンジンランニングスタートとし、ヘルメットタッチは行わない。(CX50 クラスを除く)
- スタートの手順
 - 1) プレパレーションエリアに待機する
 - 2) グリッド優先順に従いグリッドに着く
*グリッド優先順
1 ヒート種目および 2 ヒート種目のヒート I : 抽選で優先順を決める。
2 ヒート種目のヒート II : ヒート I の順位で優先順を決める(上位からグリッドに付く)。
抽選に間に合わないライダーは待機中のライダー全員がグリッドについた後グリッドを選択する。
予選がある場合はヒート I ・ヒート II とも予選結果により優先順を決める(トップタイムの早い組より交互に優先順を決定)。
 - 3) ライダーがスターティンググリッドに着いた後、コースクリアを確認しエンジン始動の合図をグリーンフラッグにより行う。グリーンフラッグ提示時点でピットクルーは速やかにスターティングエリアより退去する。
 - 4) ウォーミングアップ(約 1 分間)後、「15 秒ボード」が、約 15 秒間提示される。
 - 5) 「5 秒ボード」が提示された後、約 5～10 秒以内にスタートとなる。
 - 6) スタートの合図は、スタート系の合図(国旗等)によって行われる。
ただし、スターティングマシンを使用する場合はこの限りではない。
 - 7) スターティングエリアに入場できるのは、当該ライダー、ピットクルー(1 ライダーにつき 1 名まで)、オフィシャルのみとする。
- スタート台数
原則として最大 30 台以内とする。(特別な場合は、公式通知に示される)

【22】リタイヤ届

- 何らかの理由によりレースをリタイヤする場合ライダー又はピットクルー・関係者は速やかにリタイヤ届を提出すること。

【23】ピット及びサインエリア

- ピット及びサインエリアは、主催者により指示される。
- 出場選手はレース中に、ピット区域以外のパドックへ戻った場合失格となる。

【24】音量測定

- 競技役員判断により、音量測定を行う場合があるので、その際は速やかにその指示に従うこと。
- 他のライダー及びピットクルーから正式抗議があった場合も同様に測定を行う。
- 音量の測定方法:すべての車両の音量測定は「2mMAX」方式で行う
- 2mMAX方式の最大音量は114dB/Aとする。(騒音値の小数点以下の切捨ては行わない)
- サイレンサーが1本を超えるエンジンの音量測定は、いずれか一方のエキゾーストパイプの先端で測定される。(必要に応じて両方の先端で測定する)
- レース終了後の検査では+1dB/Aの許容誤差が認められる。
※音量規制の詳細は2020年MFJ国内競技規則P.303～「5」音量規制を参照

【25】2020年度の昇格人数

- IB→IA(申請昇格):インターナショナルオープンクラスのランキングIB最上位ライダーで、かつ当該年度の全日本選手権シリーズでポイントを獲得した者はIAに申請昇格する権利が与えられる。
- NA→IB(自動昇格):シリーズランキング上位4位までの成績を得た者。
- NB→NA(申請昇格):シリーズランキング上位6位までの成績を得て昇格申請を提出した者。
- J→NB(申請昇格):シリーズランキング上位6位までの成績を得て昇格申請を提出した者はNAまたはNBに申請昇格する権利が与えられる。
*昇格者数は同点者のある場合、この人数を超えることができる。
*MX全国大会の獲得ポイントは合算されない。
*昇格規定の詳細は2020年MFJ国内競技規則書に示される。

【26】全道モトクロスランキング規定

- ①ポイントランキング(得点の多い)順。
- ②同点の場合は上位入賞回数順。
- ③上記②で決定できない場合は最終戦結果上位のものを上位とする(ヒートレースの場合はヒートごとの順位)。
- ④上記③で決定できない場合は最終戦に近い同一大会成績結果上位のものを上位とする。
- ⑤上記④で決定できない場合は、前年度のランキング順とする。
- ⑥上記⑤で決定できない場合はMFJ北海道モトクロス部会において最終決定する。

【27】メディカル関連

- 緊急搬送時対応施策として大会参加者は各自「メディカルパスポート」を所持しなければならない。
競技期間において万が一負傷し外部医療機関へ緊急搬送された場合、搬送先の医療機関にてライダーの個人データの提出が求められる場合があるため、ライダーはあらかじめ必要事項を記入した「メディカルパスポート」を携帯し、医療機関で求められた際、提出することにより円滑な治療、判断に役立たせるもの。
なおメディカルパスポートの記載内容は個人情報であるため、ライダー本人、保護者またはチームでの保管・管理とする。MFJメディカルパスポートは以下よりダウンロードできる。
http://www.mfj.or.jp/user/contents/Applications/medical_passport/pdf/medical_passport.jp.pdf#zoom=75
- 大会期間中に脳震盪と判断された場合は当該大会の以降の走行を禁止する。次大会は完治の診断書を提出しなければ出場できない。

【28】公認ヘルメット

➤ ヘルメット公認マークについて

公認マークのないヘルメット(海外メーカー等で正規代理店を経由しないものを含む)はMFJ 競技会では使用できない。特例として公認マークが「剥がれて」しまった場合のみ、公認モデルであることを前提に誓約書を提出して1大会のみ出場が認められる場合がある。この場合次の大会までに製造メーカーまたは正規輸入代理店にライダーが直接連絡しマークを購入、貼付すれば次戦以降使用可能となる。

大会当日に特別検査料を徴収し公認シールを貼付するサービスは行わない。

公認モデルでないヘルメットを使用した状態で事故等が発生した際、保険が適用されない場合がある。

大会当日の公認マーク確認については【15】出場受付・車検をご覧ください。

【29】ライダー・ピットクルー・関係者の遵守事項

➤ ライダー、ピットクルー・関係者は大会期間中を通じて次の事項に注意しなければならない。

- 1) MFJ国内競技規則・本特別規則ならびに競技運営上の規定(公式通知等)及び競技役員の指示に従うものとする。
- 2) モトクロス場付近では、車の走行に充分注意し付近住民等に迷惑を与えるような行為は行ってはならない。
- 3) パドック利用においては必要以上のスペースを確保せず、常に譲り合いの精神を持つこと。
- 4) パドック内での宿泊において、周囲に迷惑をかける行為(飲酒や深夜までの騒ぎ声など)は行ってはならない。
- 5) パドック内での貴重品はすべて、自己責任において管理すること。パドック内で盗難事故、その他の事故や紛争について、主催者ならびに施設は一切関知しない。
- 6) 会場では防火対策に努め、ABC 粉末タイプ 4 型(内容量 1.2Kg)以上の消化器を準備する事が推奨される。
- 7) パドックでの火器の使用は可燃物から離れた位置で行なうこと。
- 8) パドックでの喫煙は各自可燃物から離れた位置に喫煙場所(車内等)を設けそこで行うこと。
- 9) ゴミは各自が持ち帰り、パドックに放置しないこと。
- 10) 大会開催期間中のドローンによる空撮及び飛行は会場内のいかなる場所でも禁止とします。

【30】損傷の責任

- 競技開催期間中に起こった損傷は自らが責任を負うものとする。
- 競技役員等主催者側はいかなる場合も一切の損害賠償責任を負うことはない。
- 競技に関連して起こった事故により負傷した場合「スポーツ安全保険」の保険金が請求できるので必ず救護員の手当てを受け、大会事務局に届け出る事。※届出がなかった場合「スポーツ安全保険」の請求は受付できない。
- 競技役員は、その職務に最善を尽くすが、仮に競技役員の行為によって起きたエントラント、ライダー、ピットクルーおよび競技車両等への損害に対しても、競技役員はいっさいの責任を負わない。

【31】本規則の解釈及び施行

- 本規則および競技に関する疑義は、大会事務局あて質疑の申し立てが出来る。但し、申し立てが出来るのはライダー及び登録されたピットクルーのみとする。尚この回答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。
- 本規則は 2020 年全道モトクロス選手権シリーズ開始時点より有効とし、本規則に示されていない事項は、2020MFJ国内競技規則による。
- 本規則は MFJ 北海道ホームページ <http://www.jmpsa.or.jp/block/hokkaido/race/c215.html> で公開される

以上